

町長の政治・行政の 成果を問う



浜田 等議員

浜田 等議員 町長は、「

躍動する希望のまちづくり」を町政運営の基本とし、精力的に施策の展開をしてきたことは由とするが、次の三点については、よい経過・結果が表れているとは言い難い。町民に対して、どのような説明をし、理解を求めたのか。

- ① 先が見えないゴルフ場誘致問題
- ② 町政の最重要課題として、後顧に憂いを残さぬ合併の実現をと、取り組んできたにもかかわらず、市制施行ができなかった合併問題
- ③ 国道三二八号の道路

拡幅改良計画（市街地部）の大幅な見直し。屋地・虎居地区の土地区画整理事業の中止、いわゆる中心市街地活性化事業の見直し等。

市街地の土地区画整理事業を断念

北村町長 一点目の「ゴルフ場誘致」については、町の活性化に大きく寄与するものと期待をし、進めてきたところであるが、現在まで本格的着工に至っていない。近日中に社会長が、今後の取り組みの説明に来られる予定である。

二点目の「合併問題」については、町民の多くの方々の理解・協力のもとに進めてきたが、結果として町民の念願である市制施行ができなかった



農業生産条件が不利な中山間地域で取り組まれている直接支払事業

ことは、町政の責任者として責任の重さを痛感している。

三点目の「土地区画整理事業」については、補助金の大幅な削減など、事業を取り巻く環境が大

きく変化したことから、断念せざるを得ない。国道の拡幅改良は、基準の大幅な変更等により見直しを行う。区画整理事業断念の詳細は、町広報紙で報告したい。

中山間地域等直接支払事業の 実績と今後の取り組みは

浜田議員 平成十二年度

から始まった「中山間地

域等直接支払事業」は、本年度が最終年度である。本町においては、制度創設当初から積極的に取り組み、県内最大の実績を誇り、中山間地域における農村環境整備に大きく寄与している。農水省は、来年度以降も制度継続の意向のようだが、本町の事業実績と、今後の展開方策を問う。

交付金は、県内トップ

町長 事業実績は、各集落の取り組みに対する姿勢が高かったことから、平成十二年度が十三集落で二、〇六八万四千円、十三年度が三七集落で七、八六〇万四千円と、十四年度から十六年度も同じような形で推移しており、五年間の交付金総額は三億三、三九八万四千円で県内トップの実績であった。本町においても、この制度の継続を強く要望しており、積極的に進めていきたい。